

S01-1 剤形開発におけるトレードオフ (overview)

○内田 享弘¹

¹武庫川女大薬

経済活動における古典的なトレードオフは時間、資金、品質のトリオである。医薬品開発、製剤開発についてはこのような視点からのシンポジウムはかつて開催されていない。本シンポジウムでは剤形に着目し、患者視点からの望ましい剤形の在り方とその製剤開発時に生じるトレードオフに焦点を当てて討論を行いたい。

シンポジウム冒頭の **overview** として、①抗がん剤成分を内包する有核型口腔内崩壊錠で、抗がん剤成分の飛散防止と速やかな崩壊性を両立した製剤の例、②肝不全用経口栄養剤配合散に含まれる苦味アミノ酸の主成分であるイソロイシン、ロイシン、バリンの結晶の粒子径を大きくすることで、溶出速度を低下させ苦味軽減を達成した事例、ならびにキット製剤における容器工夫と医療安全の問題等について話題提供する。

トレードオフをイノベーションで克服して価値を高めた製剤が開発され、効果的な薬物治療の実践と医療安全に貢献することが期待される。